

フロン01

1液 簡単 強力

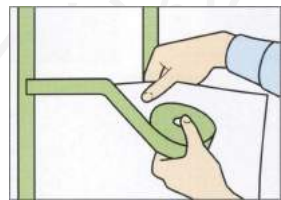
《1液型簡易ウレタン防水仕上げ》

下塗り: 01プライマー
中塗り: フロン01
上塗り: 01トップ

1 下地素材(コンクリート・モルタル)表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)エフロレッセンス(白華)、ホコリ、等は、ポリッシャー等で完全に除去し、油分など付着物は、洗浄除去し、十分に乾燥させて下さい。
(気温5℃以下湿度85%以上や天候の悪い場合の塗装は避けて下さい)

※新設コンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下になってから施工して下さい。

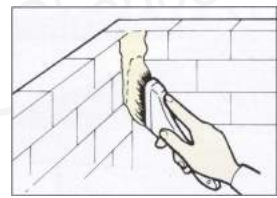
2 塗料が着いては困る所はテープやマスキングで養生して下さい。



3 【下塗り】01プライマーをよく混ぜてください。



4 うすめずに原液のまま塗装します。スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。



5 ローラーで塗りのばします。(吸込みが多い場合は数回塗り重ねて下さい。)



6 【乾燥】3時間(23℃)以上乾燥させます。(24時間以内に上塗りして下さい)

7 【中塗り】フロン01本材をよく混ぜてください。



8 混ぜたフロン01本材を流し延べます。(1㎡当たり約2Kg)



9 コテやヘラ、または砂骨ローラーで平滑になるように均一に塗り広げます。(1㎡当たり約2Kg)

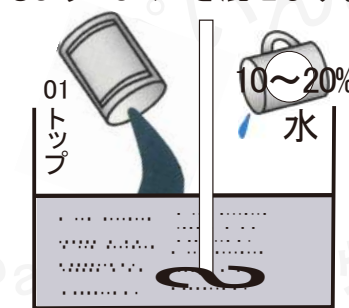


10 【乾燥】24時間(23℃)以上乾燥させます。(48時間以内に上塗りして下さい)

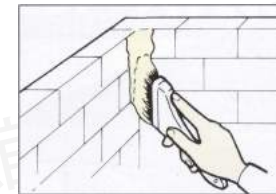
11 【上塗り】01トップをよく混ぜてください。



12 01トップを水で約10~20%うすめ均一になるようによくかき混ぜます。



13 スミなど狭い箇所などはあらかじめ目地はけなどで塗装しておきます。



14 ローラーまたは、はけで塗りのばします。



15 2時間(23℃)以上乾燥させ、もう一度ローラーまたは、はけで塗ります。



16 【完成】12時間以上(23℃)乾燥させます。(01トップが完全に乾く前に養生を取り除いてください。)

- 気温5℃以下湿度85%以上の場合、また降雨、降雪、強風時および天候不良となる恐れがあるときには塗装を避けてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、有機ガス用の防毒マスクなど適切な保護具を着用し、皮膚に触れないようにし必要に応じて保護めがね、保護手袋長袖作業着を着用して下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意してください。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 良くフタをし子供の手が届かない一定の場所を定めて保管して下さい。容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 製品安全データシートをよく読んで取扱ってください。
- コンクリート、モルタル面の表面に形成されるレイタンス(遊離アルカリ)、エフロレッセンス(白華)、砂、ホコリ、ゴミ、等は密着不良の原因となる為、ワイヤー付きポリッシャー等で完全に除去して下さい。
- 新設のコンクリート、モルタル面は、打設後約40日間以上の養生期間をとってpH9.5以下になってから施工して下さい。
- 降雨後は、下地が水分を含んでいる為、2日以上十分に乾燥させて下さい。
- 水勾配を正確にとり、水たまりが絶対に出来ないようにしてください。
- 風呂場、厨房などの常時水のかかる所や熱湯や蒸気のかかる所、湿度の高い所の施工には適しません。
- 広い面積を施工する場合、水フクレ防止の為、約50m間隔に脱気する必要があります。フロン#12脱気工法もしくは、自着シート工法にて施工して下さい。
- シーラーと上塗り塗料は絶対に混合しないでください。また、はけ、ローラーなどの共用も避けてください。
- 水分と反応硬化しますので、湿度、雨、汗等にも充分注意して下さい。
- 塗装条件、環境などにより、塗膜の本来の耐久性能が十分に発揮されない場合があります。